

連合熊本推薦候補予定者



告示日：4月12日
投票日：4月19日

原田 祐作
(50歳)
現1期 無所属
(天草宇城上益城地協)

告示日：4月14日
投票日：4月19日

坂田 竜義
(74歳)
現3期 無所属
(天草宇城上益城地協)



新たな社会をめざして

3811 情報

発行 日本労働組合総連合会
熊本県連合会
発行・編集責任者 徳富 幸平
編集者 東 郷史
〒862-0976
熊本市中央区九品寺1丁目17-9
☎(096)375-3811 FAX (096)375-3017
印刷所 株式会社 チューイン
2026年3月25日発行 No. 401

「労働時間とジェンダー平等を考える3月」 36(サブロク)の日&3.8国際女性デー街宣活動

連合熊本は3月6日(金) HAB@熊本前にて36(サブロク)の日&3.8国際女性デーの街宣活動を行いました。36(サブロク)の日街宣活動には事務局に加え、熊本労働局、熊本県社会保険労務士会の方も参加。3.8国際女性デーの街宣活動には女性委員会8名、青年委員会2名、連合推薦議員の県議3名も参加し行われました。36(サブロク)の日は、労働基準

法第36条に基づく「36協定」の周知と、働き方について考えるきっかけを提供するために制定されたものです。当日は、適正な労働時間管理の重要性を広めるため、広報チラシを封入したティッシュを配布しました。国際女性デーは、女性の権利向上と社会参加を呼びかける国際的な連帯の日であり、連合は1996年から春季生活闘争の一環として統一行動を行って

います。熊本県は政治・行政・教育・経済の4分野におけるジェンダー・ギャップ指数が低い水準にあることから、認知を広げるためのチラシと入浴剤入りティッシュを500セット配布しました。連合熊本は、誰もが自分らしく輝ける、多様性のある社会の実現を目指して今後も取り組みを進めていきます。



各地協より 2026メーデー 開催のご案内

地域協議会	肥後有明	菊池阿蘇	熊本	天草宇城上益城		県南	人吉球磨
				宇城上益城地区	天草地区		
開催日時	4月25日(土)	4月29日(水)10:00~	4月29日(水)10:00~	4月25日(土)9:00~	4月29日(水)9:00~	4月26日(日)	5月2日(土)
開催場所	グリーンランド	大津町生涯学習センター	グランメッセ熊本	嘉島町民会館	あましんスタジアム	桜十字ホール八代	相良村総合体育館

編集後記

春季生活闘争勝利総決起集会や駅伝大会には、産別・単組を問わず多くの皆さまにご参加いただき、誠にありがとうございました。集会や大会で整列している姿を見て、とても壮大に感じました。春闘勝利という共通の目標に向かって、私たちが一つにまとまっていることを改めて実感しました。これまでさまざまな行事に参加する中でいつも感じるのは、業種や職種の違いを越えてこれだけ多くの仲間が集まれるのは、連合ならではの強みだということです。今後もメーデーをはじめ、さまざまな行事を予定しています。一人ひとりの参加が組織全体の力となりますので、ぜひ積極的に足を運んでいただければ幸いです。

Topics RENGOKUMAMOTO

お知らせ



今後の主なスケジュール

- 3月25日 連合熊本第2回中小地場共闘センター会議
- 4月9日 連合熊本第6回執行委員会
- 25日 第97回メーデー肥後有明集会
- 〃 第97回メーデー宇城地区連上益城地区連合同祭典
- 26日 第97回メーデー県南地区集会
- 27日 連合熊本第3回中小地場共闘センター会議
- 29日 第97回メーデー熊本県中央祭典
- 第97回メーデー菊阿集会
- 第97回メーデー天草地区連祭典
- 5月2日 第97回メーデー吉球磨地協祭典

物価高に負けない賃上げの実現 連合熊本2026春闘勝利総決起集会



基幹労連 馬場委員長



電機連合 小村議長



連合熊本 山本会長



中小地場共闘センター 西センター長



女性委員会 新堀幹事



熊本地協 中村副議長

連合熊本は2月27日(金)、辛島公園多目的広場にて「2026春闘勝利総決起集会」を開催し、構成組織および地域協議会から約600人の組合員が参加しました。

集会は連合熊本 徳富事務局長の開会で始まり、主催者を代表して山本会長より、「2026春季生活闘争が始まり、連合は物価高に負けない賃上げの実現と、労働組合のない職場にも賃上げの流れを広げることを目指している。特に中小企業では価格転嫁が不可欠であり、社会全体の理解を求めていく。また、長時間労働につながる労基法見直しの動きには反対し、働く人の生活防衛と改善に向けて取組を強めていく」とあいさつしました。

福祉事業体、政党・連合熊本推薦議員団の紹介の後、中小地場共闘センターの西センター長より春季生活闘争の情勢報告がありました。続いて、2つの産別代表者が2026春季生活闘争への決意表明をおこないました。

まず、電機連合熊本地協の小村議長が「人への投資を軸に賃上げと労働条件改善を進め、日本の成長と産業全体の

賃金引き上げを牽引するため、2026年闘争で積極的に交渉を進めます。『適正な総実労働時間の実現』『働き方改革』『誰もが活躍できる職場環境の実現』など、労働協約関連を含む総合的な労働条件の改善に取り組みます」と決意を述べました。

続いて、基幹労連熊本本部の馬場委員長が「基幹労連は27万人規模の産別組織として、基幹産業で働く人々とその家族の幸せを追求するため、『結果』にこだわり、実質賃金の維持・向上はもとより、労働諸条件の改善と底上げにつなげていけるよう全力で取り組みます」と宣言しました。

最後に、連合熊本女性委員会の新堀幹事(全労金)が集会アピールを読み上げて採択され、熊本地協の中村副議長(電機連合)による団結ガンバローで集会を締めくくりました。

連合熊本は「こだわろう! 暮らしの向上 広げよう! 仲間の輪」をスローガンに、構成組織・地域協議会と一体となって最後まで取り組みます。



参加者集合



会場ステージの様子



スローガンの横断幕



総決起集会の旗

走りがつなぐ笑顔と団結

「2026春季生活闘争勝利」連合熊本第33回産別・地協駅伝大会

連合熊本は3月1日（日）、水俣市エコパーク水俣にて「2026春季生活闘争勝利」連合熊本第33回産別・地協対抗駅伝大会を開催しました。構成組織および福祉事業体から36チームが参加し、暖かな気候の中、エコパーク水俣内の8区間・17.1kmを駆け抜けました。

開会式は県南地協の吉川事務局長の開会で始まり、主催者を代表して連合熊本・山本会長があいさつを行いました。続いて、福祉事業体および連合推薦議員団の来賓紹介があり、昨年優勝した自治労（熊本県職）から優勝カップの返還、県南地協 田中伸仁選手（水俣市職員労働組合）による選手宣誓が行われました。

山本会長の号砲でレースがスタートし、各チームがタスキをつなぎながら力走しました。沿道では仲間や家族が声援を送り、選手たちはその声に応えるように懸命に走り抜けました。

結果は自治労（熊本県職）が優勝、大会5連覇しました。閉会式では結果発表と賞品の授与が行われ、徳富事務局長の講評の後、松崎議長による団結ガンパローで締めくくられました。

今回の開催にあたり、事前準備や当日の運営にご尽力いただいた県南地協の皆さまに心より感謝申し上げます。来年度は人吉球磨地協管轄での開催を予定しています。季刊『RENGO』のHP内⇒RENGO ONLINEに、人吉球磨地協の駅伝大会の記事が掲載されていますので、ぜひご覧ください。



一斉に駆け出す、熱気あふれるスタートの瞬間



総勢36チームが集結!!



優勝の自治労A(熊本県職)



田中選手の選手宣誓



あとはまかせた!!



組合旗と一緒にゴール!!



県南地協 松崎議長による団結ガンパロー



追いつけるか!!

【最終順位】

順位	ゼッケン番号	チーム名(構成・単組名等)
優勝	25	自治労A(熊本県職員労働組合)
準優勝	69	人吉球磨地協(九州武蔵精密労組)
3	34	基幹労連A(ジャパンマリユニテッド有明労組)
4	2	自動車総連B(ヤマハ熊本プロダクツ労働組合)
5	17	人吉球磨地協(錦町職員組合)
6	44	天草宇城上益城地協B(宇城市職労)
7	28	電力総連A(九電ユニオン天草分会)
8	1	自動車総連A(本田技研労働組合)
9	46	JAM B(アーレスティ熊本労組)
10	35	紙パ連合B(日本製紙労働組合八代支部)
11	48	菊阿地協E(大津町役場職員組合)
12	36	JAM A(ヒラタユニオン)
13	66	天草宇城上益城地協C(御船町職労)
14	50	自動車総連C(全本田労連)
15	8	運輸労連(ヤマト運輸労連5)
16	68	基幹労連B(ジャパンマリユニテッド有明労組)
17	22	電機連合B(ルネサスグループ連合 川尻地区支部)
18	15	UAゼンセン(東京応化労組 阿蘇支部)
19	5	県南地協A(混成)
20	21	電機連合A(パナソニックインダストリー労組)
21	83	電機連合E(ルネサスグループ連合 錦地区支部)
22	64	電機連合F(ルネサスグループ連合 エンジニアリング労働組合 熊本支部)
23	65	電機連合G(アムコーテクノロジージャパン労働組合 熊本支部)
24	40	電機連合D(三菱電機労働組合熊本支部)
25	4	交通労連A(全産交労組)
26	37	自治労連A(第一職労)
27	19	国公連合(混成)
28	13	情報労連A(NTT労組)
29	38	全労金A(九州労金労組)
30	23	電機連合C(オムロングループ労連)
31	52	自治労連B(第一職労)
32	86	UAゼンセンE(フランソア労働組合)
33	49	交通労連B(全産交労組)
34	45	UAゼンセンB(ゆめマートユニオン)
35	71	全労金B(九州労金労組)
36	56	こくみん共済COOP



↑駅伝大会記事へのアクセスはこちら

地協だより

春季生活闘争県内一周キャラバン行動



熊本地協

連合熊本各地域協議会は、2月6日から3月6日にかけてキャラバン行動を実施しました。キャラバンカーで県内各地を巡回し、春季交渉に向けた機運を高めるための街宣活動を行いました。また、構成組織の組合員が参加する総決起集会や合同学習会、要請行動なども展開しました。

これらの取組により、春季生活闘争への理解促進と連帯の強化が進み、県内全体で賃上げと労働環境改善に向けた機運を一層高めることができました。



県南地協へ引継ぎ



人吉球磨地協へ引継ぎ



熊本地協と連合熊本のメンバー



九州武蔵精密労組の方々



天草宇城上益城地協へ引継ぎ

中小地場企業の明日を考える 中小地場共闘会議&学習会

連合熊本は2月7日（土）、労働者福祉会館にて「第1回中小地場共闘センター会議」および「中小地場労組学習会」を開催しました。

会議では、連合熊本2026中小地場共闘センターが発足し、冒頭、連合熊本副会長の西センター長（UAゼンセン）が、中小労組を取り巻く課題の多様化に触れながら、共闘センターの役割として「情報共有の強化」「要求の可視化」「交渉力の底上げ」の重要性を強調しました。

続いて、各構成組織から取り組み状況や特徴的な要求項目について報告があり、連合熊本の齊藤副事務局長より、今後の活動方針や取組について説明が行われました。

会議に続いて開催された「中小地場労組学習会」では、連合本部・総合政策推進局の酒井次長を講師に迎え、「連合2026春季生活闘争を取り巻く情勢と方針」について講義が行われました。

連合熊本では、今回の会議を皮切りに、計5回の会議を7月まで開催し、地域の中小地場労組が一体となって春季生活闘争を進められるよう、継続的な支援と情報共有を進めていきます。



西センター長挨拶



連合本部 酒井総合政策推進局次長



会議の様子

賃上げのさらなる定着と経済の好循環へ 2026年度労使懇話会セミナー

連合熊本と熊本県経営者協会は2月4日（水）、KKRホテル熊本にて労使懇話会セミナーを開催しました。

本セミナーでは「春季労使交渉に向けての労使のスタンス」をテーマに、経団連から労働法制本部 本部長 鈴木重也氏を迎え、「2026年版 経営労働政策特別委員会報告」について講演いただきました。

また、連合本部からは総合政策推進局 労働条件・中小地域対策局長 小菅元生氏より、「連合白書～ 2026春季生活闘争の方針と課題～」について解説しました。

講演では、賃上げのさらなる定着と経済の好循環を実現するための課題や、労使双方の現状と取り組むべき方向性について、最新の動向を交えて説明が行われました。



連合本部 小菅総合政策推進局局長



セミナー会場の様子



経団連 鈴木労働法制本部本部長

こ
だ
わ
ろ
う
！
く
ら
し
の
向
上
ひ
ろ
げ
よ
う
！
仲
間
の
輪